

当法人は、女性アスリートの地位向上、地域における女性スポーツ環境の改善等を目的とする団体であり、日本女子サッカーリーグ3部チャレンジリーグに所属するNGUラブリーグ名古屋を運営しています。

女子サッカーを取り巻く環境は、決して良くありません。

その原因をひとことと言うのは難しいですが、少なくとも、世の中に注目され、世の中を動かすほどの価値を提示できていないことがその原因の一つでしょう。

世の中の多くの方が、子どもの頃に何らかのスポーツを体験されたと思います。

スポーツには、体を鍛える、心を鍛える、我慢や規律、協調性を学ぶ、アスリートが限界に挑む姿を見ることによって感動するなど、挙げればきりがなほど様々な意義、価値があることを、多くの方が体験的に知っているはずです。

その一方で、スポーツには興行という側面があり、興行には資金が必要です。

「スポーツ」は、このように多様な側面があり、まだそこには多くの可能性が残されていると考えています。

特に、女子サッカーにはまだまだ多くの可能性が眠っているはずです。

現在、私たちを支援していただいている企業、個人の皆さんは、実際に試合を見て、女子選手ならではのひたむきさ、クリーンさ、創造性溢れるプレー、磨き抜かれた技術に感嘆し、感動されます。

私たちは、女子サッカーの持つ、この魅力をもっと磨き、その価値を高め、発信することで、女子サッカー選手の地位向上、地域におけるサッカー環境の改善、ひいてはこの地域におけるスポーツ文化を発展させていきたいと考えています。

なでしこリーグ1部昇格が我々の当面の目標ですが、それは目的ではなく、手段です。

当クラブには、アカデミー（下部組織）があります。

ユース（高校生年代）、ジュニアユース（中学生年代）、ジュニア（小学生年代）までの各年代が、日々技術を磨いています。

育成において大切なことは、現在だけでなく、その選手が将来サッカー選手としてどのように成長するかを、長期的なスパンで見ることだと考えます。

目先の勝利、結果ばかりを追うのではなく、例え負けたとしても、それを選手の成長に繋げていくことが私たちの役割です。

また、私たちは、サッカーの技術を磨くだけでなく、チームメイト、対戦相手、審判、サッカーに関わる全ての人にリスペクトの心を持ち、ひとりの自立した人間に成長できるよう導くことが重要だと考えており、随時セミナーを開催するなど、選手の人間的成長を促す

ための活動をしています。私たちは、ただサッカーが上手いだけではない、人格的にも優れた選手を育成することを目指しています。

育成年代の選手たちには、勉強を疎かにせず、文武両道を目指して欲しいと考えています。それが、サッカー選手としての成長にも必ず通ずると、私は信じています。

そうして育った若い選手達が、将来トップ選手になってこの地域で活躍すること、トップ選手にはならなくても、生涯スポーツとしてのサッカーを楽しみ、サッカー界に関わり続けることが、この地域でのサッカー文化の発展に繋がっていくはずです。

そのためにも、アカデミー所属選手の育成、普及活動には、今後も力を入れていきます。

長く険しい道のりであることは承知しています。

私たちは諦めることなく、一歩ずつ、着実に歩みを進めていきます。

我々の理念、ビジョンに賛同し、その実現に向けてともにチャレンジしていただきたく、お願い申し上げます。

特定非営利活動法人 LOVELEDGE 理事長

弁護士 堀 田 崇